

リーディングDXスクール事業【実践事例】

佐世保市立中里小学校（長崎県）

【取組内容①】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体化

◇ 「学習の進め方を自ら調整する授業」の展開例①

第6学年 国語学習指導案

単元名 提案する文章を書く
「私たちにできること」

身につけさせたい力	本単元では、身の回りに関する問題について、自分たちにできることを具体的に考えて提案する文章を書いていく。この学習を通して、集めた情報を関係づけることで筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考える力を身につけさせたい。そのためには、集めた情報を分類したり整理したりして、書き表し方を工夫し、相手が納得する提案をする必要がある。協働的な学びにより、相手が納得する提案文を練り上げていく活動を通して、児童の資質・能力を高めていきたい。
IOTの利活用	本単元では、集めた材料を思考ツール(ジャムボード)により分類したり関係付けたりして整理することで自分の考えを明確にする。そして、整理した情報をもとに、モデル文を参考にしながらスライドに文章を書いていく。その際、タブレット端末の強みを活かし、一言に協働的な学びを設定するのではなく、児童自らが個別最適な学び、協働的な学びを選択し、自らの学びを調節できるように単元計画を考えていくことで、相手が納得する提案文を練り上げていく。 これにより、書くことが苦手な児童も友達と協働し、筋道の通った文章となるように全体の構成や展開を考えながら文章を組み立て、さらに相手が納得する書き表し方を工夫することができる。

単元の目標	
○文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解することができる。 【知識及び技能】(1)カ	【知識及び技能】(1)カ
○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】B(1)ア	【思考力、判断力、表現力等】B(1)ア
○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】B(1)イ	【思考力、判断力、表現力等】B(1)イ
○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、現実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 【思考力、判断力、表現力等】B(1)ウ	【思考力、判断力、表現力等】B(1)ウ
○筋道の通った文章となるように、粘り強く文章全体の構成を考え、学習の見通しをもって提案する文章を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】	【学びに向かう力、人間性等】
言語活動	○提案する文章を書く。 【思考力、判断力、表現力等】B(2)ア

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。	④「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。 ⑤「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。 ⑥「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、現実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。	⑤筋道の通った文章となるように、粘り強く文章全体の構成を考え、学習の見通しをもって提案する文章を書くこととしている。

単元計画		【評価計画】
第1時	教科書を読み、単元のめあて、ゴールを設定する。	⑤
第2時	身の回りに関する問題について考え、学習計画を立てる。	⑤
第3時	テーマを決め、現状と問題点などを考える。	⑤
第4時	提案する文章の構成を考える。	①
第5時(本時)から第9時	提案する文章を書く。 ①提案する内容、提案理由、効果を考える。 ②提案する内容を具体的に考える。 ③読み手が提案の内容を捉えやすい指示方を考える。 ④内容や書き方を検討する。	② ③ ④ ⑤
第10時	提案する文章を読み合い、感想を伝え合う。	⑤
第11時	実際に提案し、単元を振り返る。	⑤

研究仮説「主体的・対話的で深い学び」の実現の観点に立ったIOTを活用した授業展開の工夫
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
思考ツール(ジャムボード)を用いて考えを明確にしたり、スライドを用いて提案する文章を書いたりする場面において、個別最適な学びと協働的な学びを繰り返しながら自らの学びを調節しながら取り組むことで、自分の考えを深めることができるであろう。

本時の指導	(1)目標 ○提案する内容や提案理由、提案を実施した場合の効果について考え、伝えたいことを明確にすることができる。 (2)展開	
過程	学習活動	指導上の留意点
つかむ	1 本時のめあてを確認する。	○前時に考えた構成を参照し、学習計画に沿って、自分が選択した学び方で進めていくことを確認させる。
10分	めあて:提案すること、提案理由、提案を実施した場合の効果について考えよう。	
	2 本時の学習の流れを確認する。	○個別学習や協働学習の仕方を具体的に示すことで、話しやすい雰囲気をつくる。
考える	話題の中心:友達と話し合いながら、提案することなどを明確にしよう。	
深める	3 自分の考えをまとめる。	1 考えの形成・交流・比較・確かめ【個別・協働学習】 ○思考ツール(ジャムボード)に提案すること、提案理由、提案を実施した場合の効果を書き、自分の考えを明確にさせる。 ○自分の考えをまとめる際、ペアで話し合ったり、同じテーマのペアと意見を交流したりするなど、自分で学びを選択させる。 ○必ず友達と意見を交流しながら、考えを比較したり確かめたりすることで、自分の考えを明確にさせる。 ○自分の考えを明確にした見直しは、次の活動に連なり、スライドの文章を書いたりするなど、自分で判断して活動させる。
25分		
まとめる	4 全体で発表する。	2 考えの認め合い・共有・深化;まとの【協働学習】 ○数人に自分の考えを発表させることで、考えを認め合い、共有させる ○友達の考えを聞くことで、さらに自分の考えを深めたり本時の学びを実感させたりする。
10分		
	5 振り返り	○振り返りの視点を与えることで、本時の学びを実感し、次時への意欲を高める。また、友達と学ぶことの良さを実感させる。

(3)評価
○提案する内容や提案理由、提案を実施した場合の効果について考え、伝えたいことを明確にすることができる。